



第4回市政モ二タ一提言書作成会議

11月20日(木)
中会議室1



・項目ア：「テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル」

タイトル



・項目イ：「項目アの内容」



・項目ウ：「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」



・項目エ：「項目ウを実現させるために解決すべき課題」

目標



・項目オ：「取組」

課題



タイトル

・項目ア：「テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル」



・項目イ：「項目アの内容」



・項目ウ：「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」



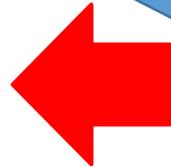
・項目エ：「項目ウを実現させるために解決すべき課題」



目標

課題

・項目オ：「取組」



今日は
ここです！



みとちゃん

今までのおさらい

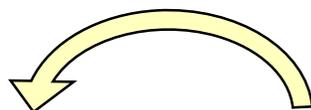
項目ア・イ

まちの魅力

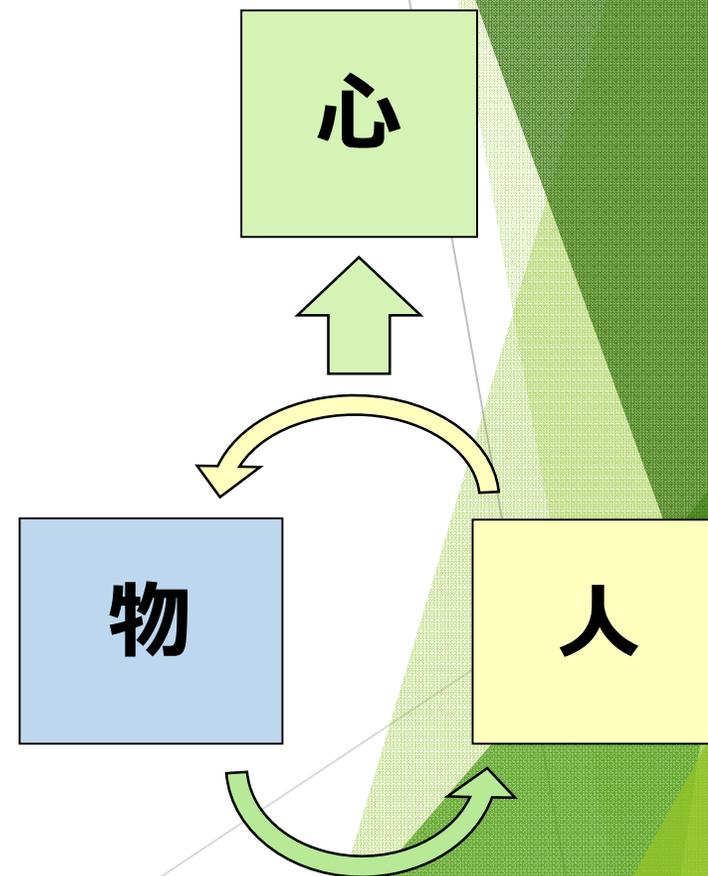
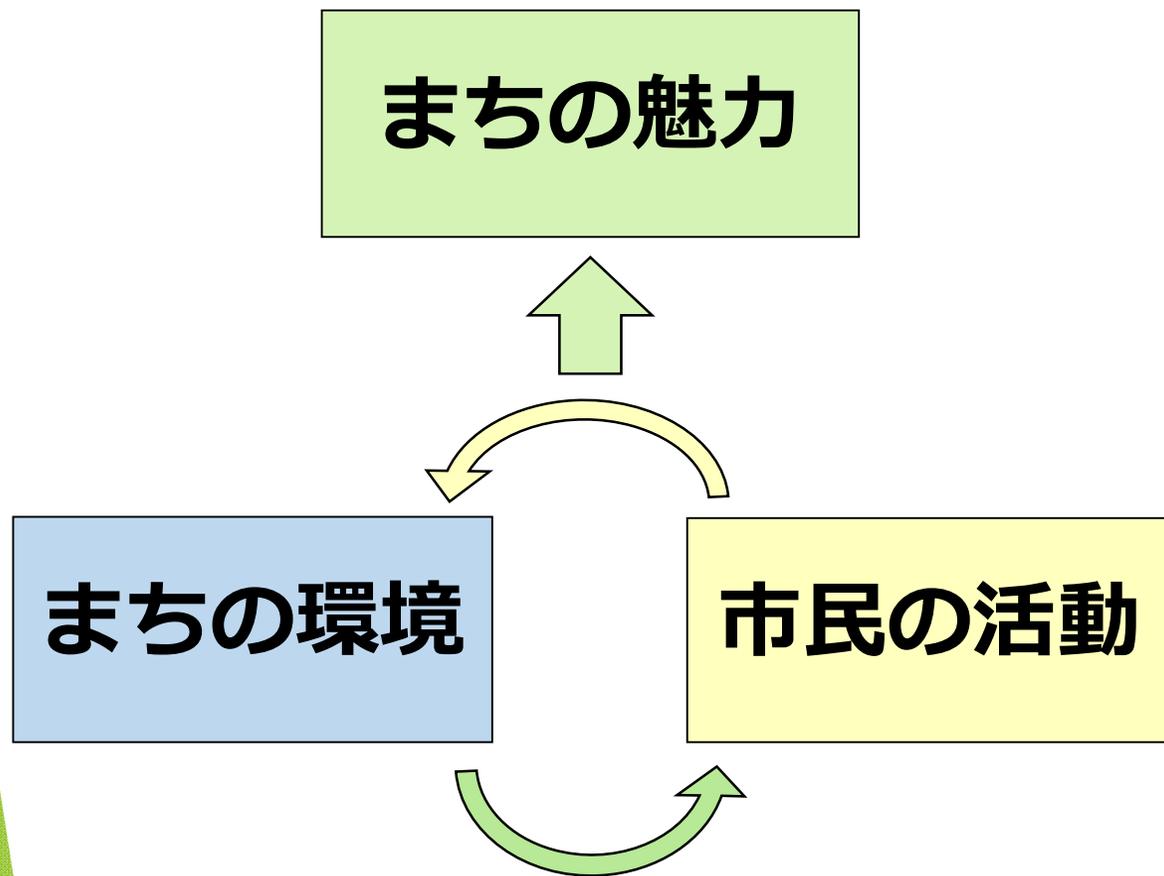


まちの環境

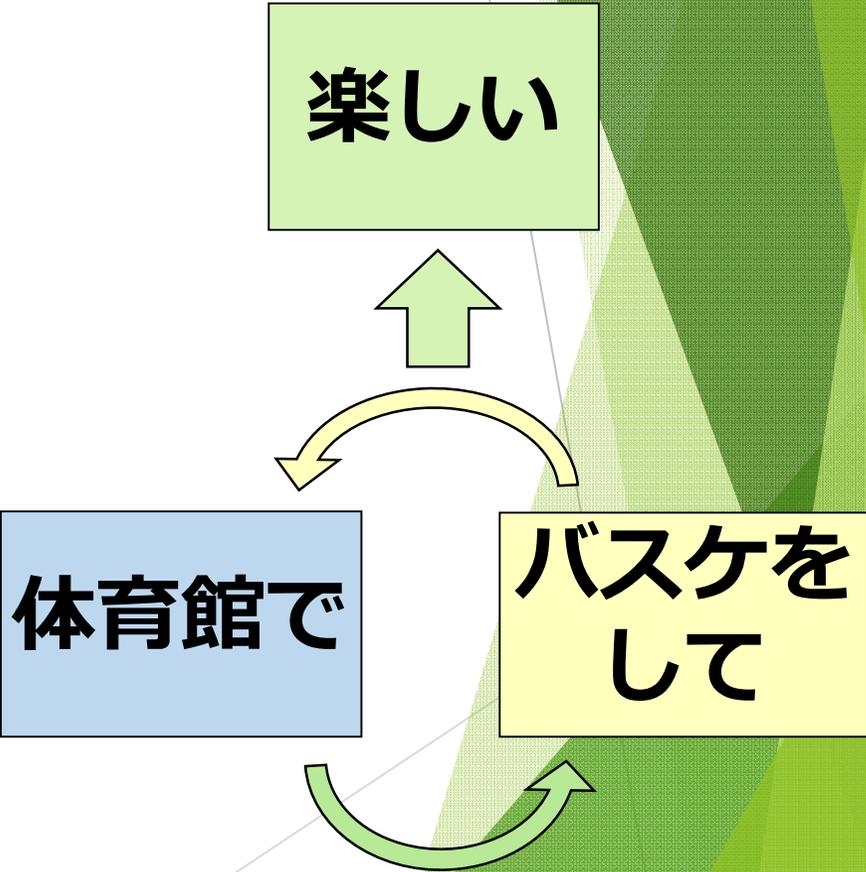
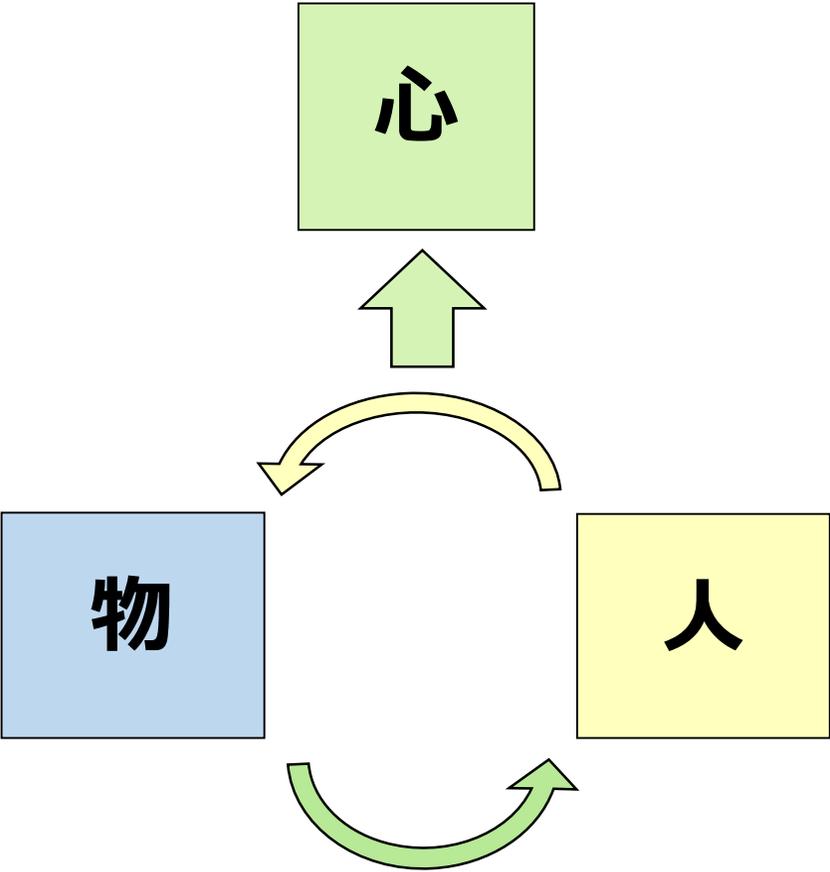
市民の活動



簡単に言うと・・・



例えば・・・



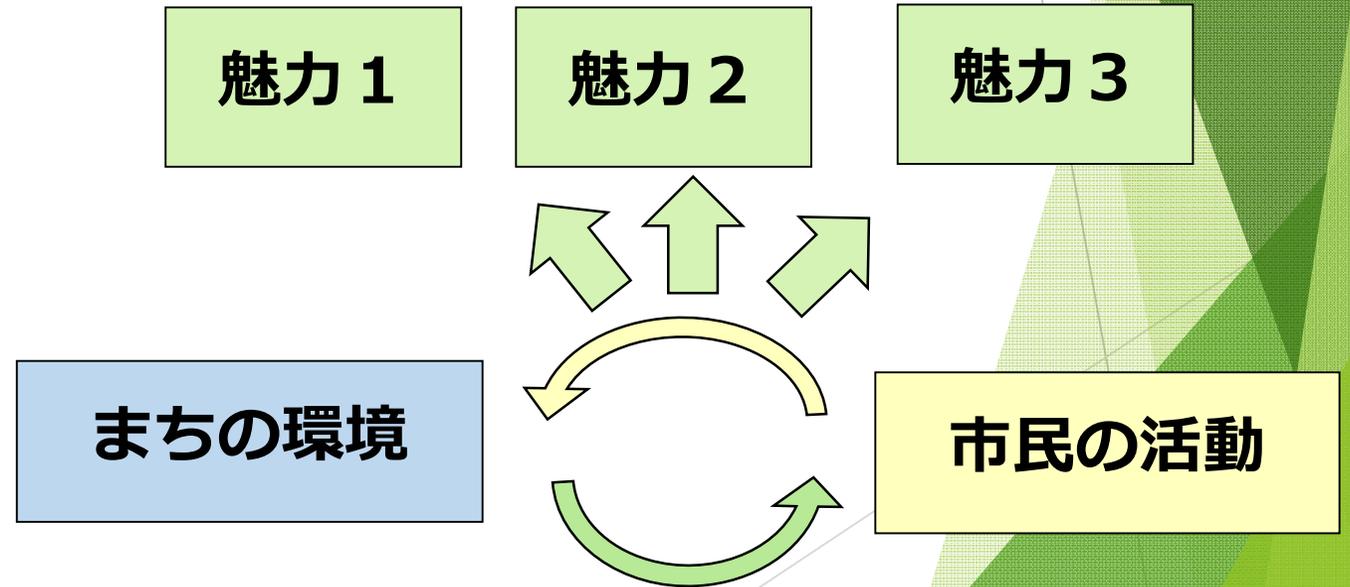
項目ウ

項目ウ：

「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」

項目ウでは、項目イで描いた理想の水戸市の姿の内、実現させたい魅力を選びます。

理想のまちは一つ一つの的を絞り実現していく必要があるため、この項目で的を絞ります。



項目ウ：

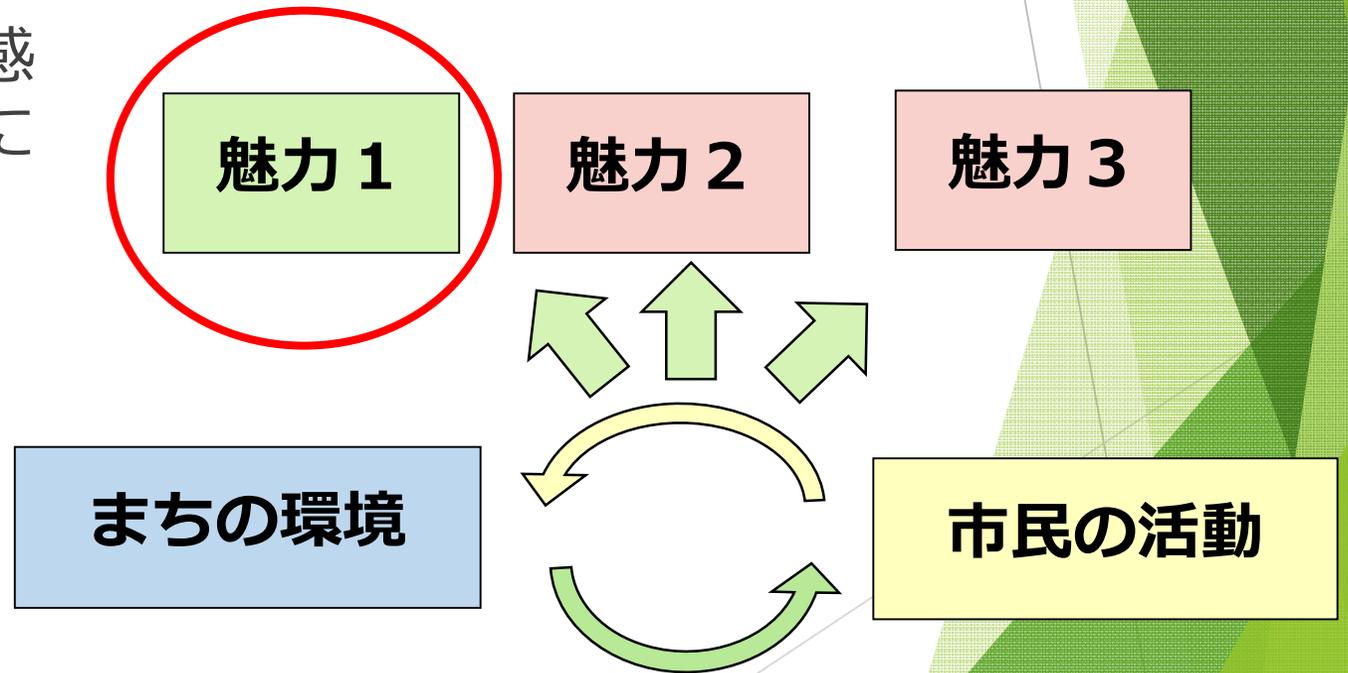
「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」

感情は人にまつわるため、「誰が」を言わないと意味が伝わりません。

そのため、「誰が」「どのような感情を抱いているか」が分かるように記入します。

(例)

スポーツ好きの人が楽しめるまち



項目ウ：

「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」

- ・ **スポーツ好きの人が楽しめるまち**
- ・ **千波湖に訪れた人が自然から学びを得ること**
- ・ **水戸市民の郷土愛が育まれること**

項目工

○課題作成の手順

課題手順1:「項目ウの実現に必要な重要な条件」を見つける

課題手順2:「手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていること」を見つける

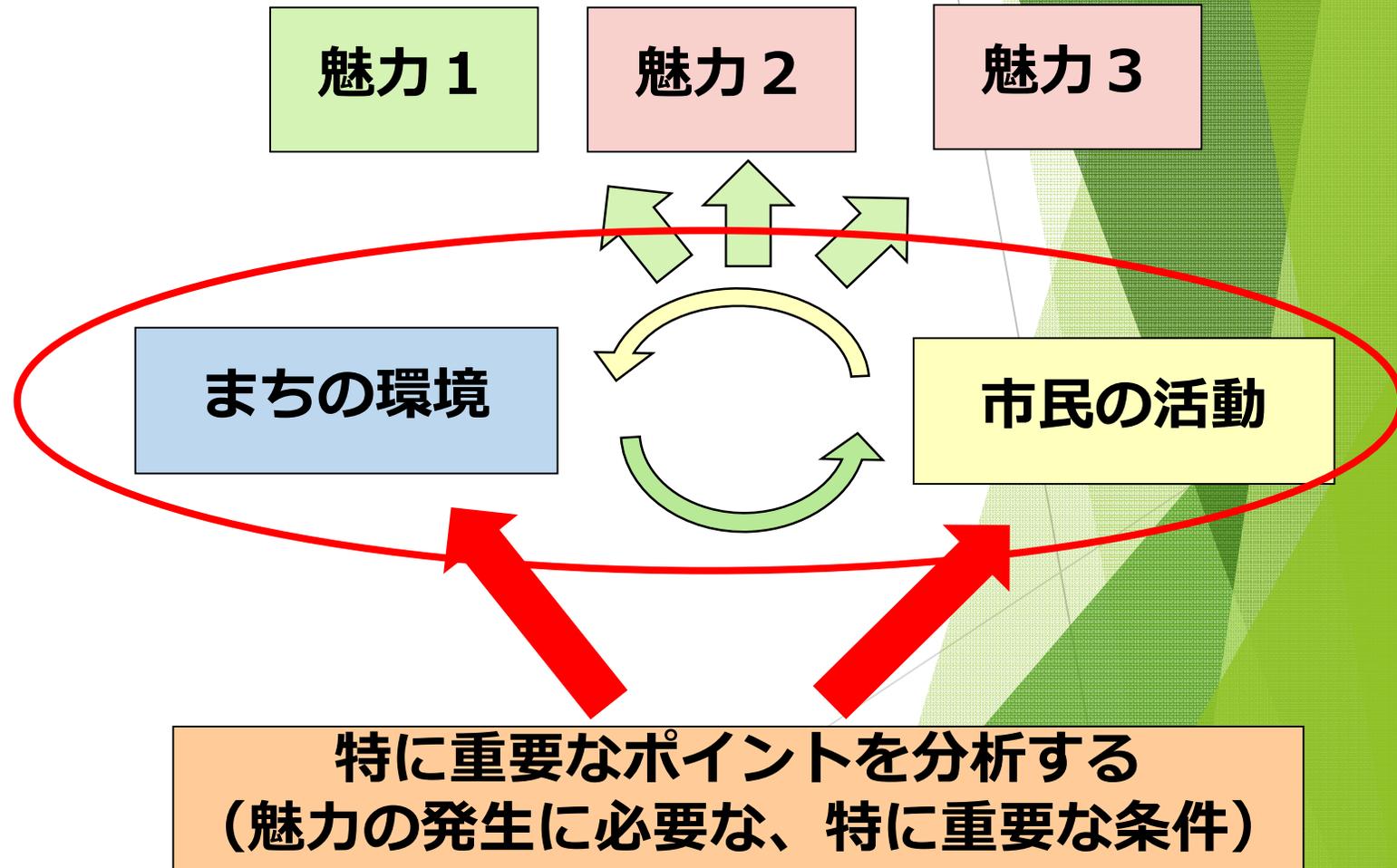
課題手順3:手順1と手順2を組み合わせ、課題を設定する

項目工【課題手順 1】

(魅力を発生させる重要な条件の分析)

課題作成の手順 1 では、項目ウで選んだ魅力を発生させるにあたって、重要な条件を分析します。

右の図のように、魅力はまちの環境と市民の活動の循環により生じるため、この循環の中で特に重要なポイント进行分析します。



項目工【課題手順1】の例 (魅力を発生させる重要な条件の分析)

【手順1】
スポーツ好きの人が楽しめるまち

手順1

(環境の例)

身近にスポーツ施設があること

(活動の例)

スポーツを通じた交流があること

※現状ではなく、理想に対して分析を行います。

項目工【課題手順2】

(条件を満たす上で支障になっている問題の分析)

課題作成の手順2では、手順1で挙げた条件を満たす上で、支障になっている問題を分析します。

これは「**現状分析**」と呼ばれます。

- 現状分析（社会調査）の手段
⇒アンケート、論文、フィールドワーク、計測 等々

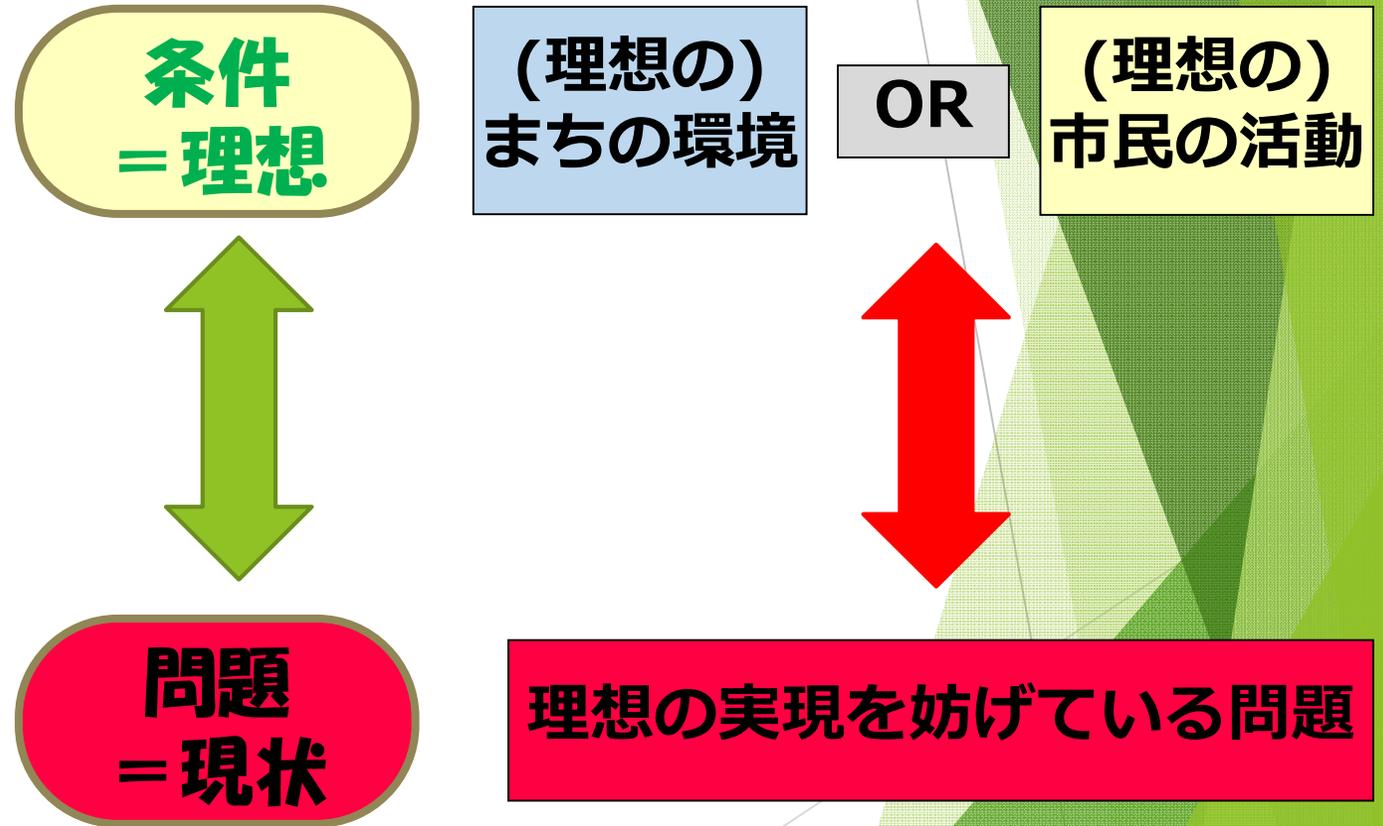


項目工【課題手順2】のポイント

(条件を満たす上で支障になっている問題の分析)

現状分析のポイントは**手順1**を前提とすることで、ただ漠然と現状分析を行うわけではない点です。

⇒条件成就を妨げている問題の分析。



手順2の例

(条件を満たす上で支障になっている問題の分析)

スポーツ好きの人が楽しめるまち

手順2

(環境の例)

身近にスポーツ施設があること



〇〇町に体育館を作る
(〇〇町付近に体育館が無い)

(活動の例)

スポーツを通じた交流があること



スポーツ人口を増やす
(スポーツをしてる人が少ない)

項目工【課題手順3】

(手順1と2から課題を設定する)

手順3では、手順1と2をくっつけて課題とします。



手順3の例 (手順1と2から課題を設定する)

基本構文:「手順1のため、手順2をする(解決する)」

(例)

手順1	手順2	手順3
身近にスポーツ施設があること	〇〇町に体育館が無い	身近にスポーツ施設があるようにするため、 〇〇町に体育館を作る
スポーツを通じた交流があること	スポーツ人口が少ない	スポーツを通じた交流があるようにするため、 スポーツ人口を増やす

※必要に応じて文言を微調整してください。

項目才

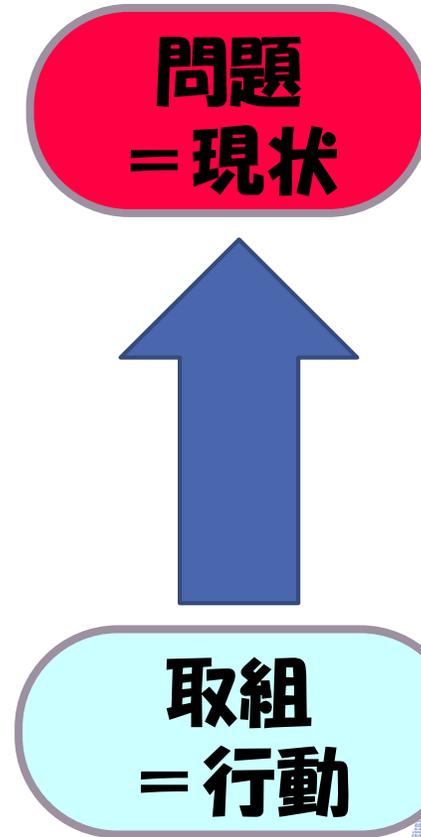
取組とは (問題を解決する行動の立案)

前回定めた課題（特に手順2で挙げた問題）を解決する行政の行動を立案します。

行政がどういう**行動**を起こすことで問題が解決されるか、その行動を具体的に考えます。

(ポイント)

立案した行動が、現状分析で見つけた問題の解決につながらなければダメです！

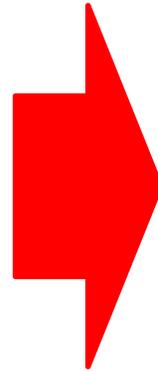


取組の例

課題

身近にスポーツ施設があるようにするため、
〇〇町に体育館を作る

スポーツを通じた交流があるようにするため、
スポーツ人口を増やす



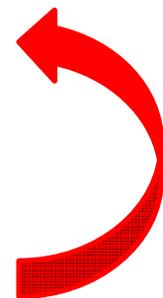
取組

〇〇町の住民を含めたタウンミーティングを行う

初心者向けのスポーツ教室を開催する

今までのことを逆にたどると？

項目ア・イ: 皆さんの理想の水戸市が実現する



これを繰り返すと・・・

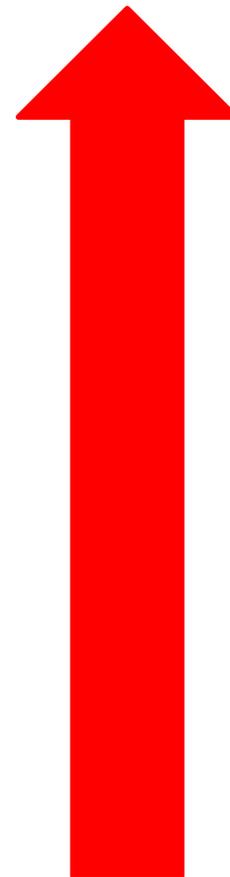
項目ウ : 実現したいまちの魅力が実現する

項目エ①: 項目ウの実現に必要な重要条件が満たされる

項目エ②: 項目エ①を妨げている現状の問題が解消される



項目オ: 取組(問題を解決する行動の立案)



今までのことを逆にたどると？

項目ア・イ: **スポーツのまち・水戸**

項目ウ : **スポーツ好きの人が楽しめるまち**

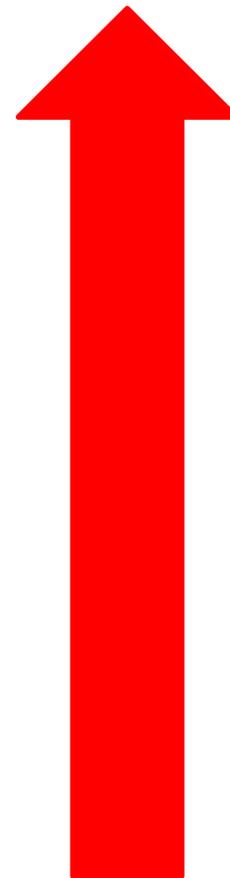
項目エ①: **スポーツを通じた交流が生まれる**

項目エ②: **スポーツ人口が増える**

項目オ: **初心者向けのスポーツ教室を開催する**



これを繰り返すと・・・



最後にお伝えしたいこと

最後にお伝えしたいこと

今まで行ってきたことや行政の取組は

全て皆様の理想とする水戸市を実現するためにあります。

そして、

**どのような水戸市が理想の水戸市かを決めるのは
主権者である市民の皆様です！！**